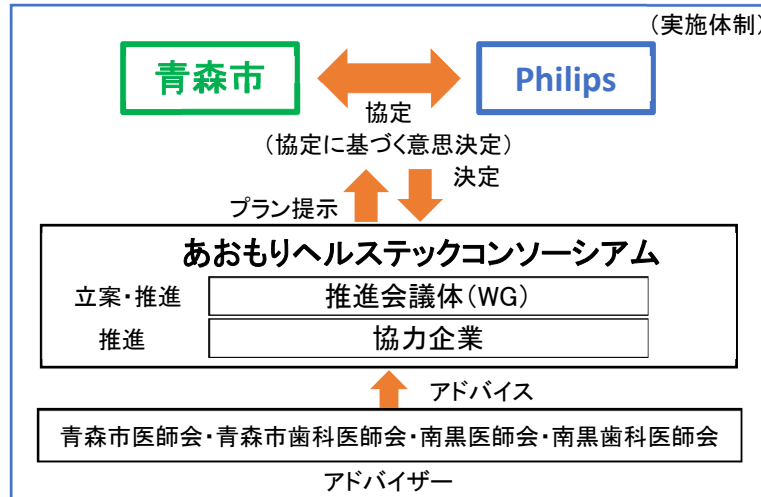


ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト

取組の背景

2019年2月6日「ヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定」を締結

本市と株式会社フィリップス・ジャパンは、青森市民の健康寿命延伸を基本コンセプトとして、「ヘルステックを核とした健康まちづくり連携協定」を締結し、浪岡地区をモデル地区とした新たな事業に取り組むこととしました。



これまでの取組

健康課題の調査、事業策定

- ◎ワーキンググループの開催（オンラインを含めて約30回）
- ◎様々な職種の方々と意見交換
- ◎アドバイザーによる検討内容の精査
- ◎各省庁を通じて社会の流れを調査



「浪岡地区健康まちづくり発表会」の開催

- ◎令和元年9月29日、中世の館において開催
- ◎浪岡地区の住民の方々に事業プランの進捗報告
- ◎クロストークセッション「浪岡地区の健康寿命延伸に向けて」
浪岡町内会連合会 伊藤芳男会長
地域包括支援センター浪岡 木村真理子センター長
青森市立浪岡病院 高橋敏之院長
- ◎一部サービスのデモンストレーション（体験会）を実施
あおりヘルステックコンソーシアム参加予定の
ネスレ日本(株)・(株)エナジーゲートウェイ・
(株)ワーコン・カゴメ(株)が参加



実証事業の実施

- ◎令和2年1~2月にPoC事業（実証実験）を実施
- ◎予防サービスは、花岡プラザ及び北中野公民館で開催
- ◎見守りサービスは、浪岡地区の方3名を対象



事業プラン

モビリティを活用した予防サービス（フレイル/生活習慣病予防）



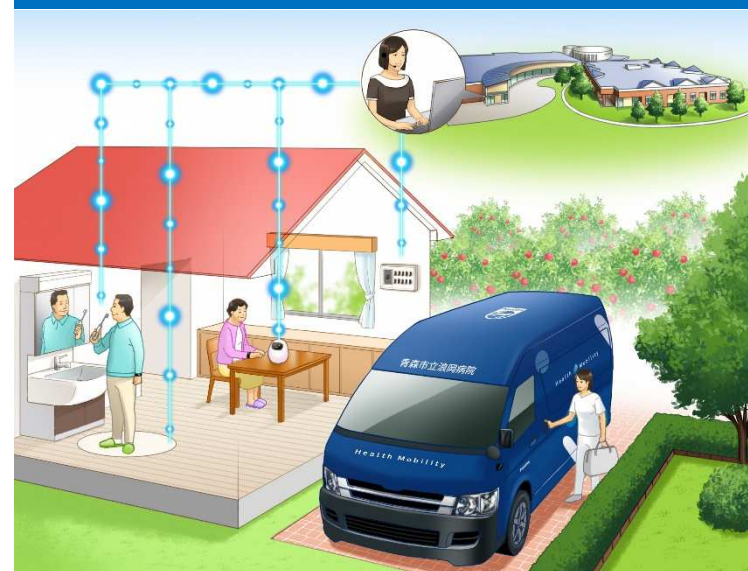
- ◎高齢者や働き盛り世代に対し、簡易ヘルスチェックと予防プログラムを提供。
- ◎モビリティの活用により様々な場所で実施することで、健康意識の低い方々へも予防を促していく。

【簡易ヘルスチェックの内容】

- 身長測定 ○体組成測定 ○運動機能測定 ○推定野菜摂取量測定
- MNA(栄養状態)問診 ○認知機能チェック ○ヘルスチェック問診
- 握力測定 ○歩行速度計測 ○血圧測定

- ◎浪岡地区の特定健診受診率（26.6%）
⇒ 青森市全体の受診率（40.3%）
- ◎青森市の介護認定者率（23.0%）
⇒ 青森県（21.5%）や国（21.2%）の認定者率

IoTを活用したみまもりサービス（訪問看護利用者/独居高齢者向け）



- ◎自宅での生活/生体データを活用した24時間遠隔見守りを追加した新たな高齢者・在宅患者サポートモデル。
- ◎IoTを活用することで、今後加速していく在宅医療の機能化・高度化を図っていく。

【設置機器の内容】

- 見守りロボット ○室内センサー（ルームタイプ・ベッドタイプ）
- 電力センサー（配電盤） ○IoT建材（トイレ） ○電動歯ブラシ
- ※みまもり看護師を現地採用し、ヘルステックセンターに配置

- ◎入院から在宅医療へのシフトを目指す上で、まずは在宅の患者さんやその家族が安心して生活できる仕組みを構築する
- ◎（日中）独居高齢者が健康的に暮らせる仕組みの構築により、要介護状態となることを少しでも遅らせる。

あおりヘルステックセンター

新・浪岡病院
(2021年5月開院予定)

